

令和 5 年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」
及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立桃園幼稚園

令和 6 年 2 月

大阪市立桃園幼稚園 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 本園の特色の一つである広い園庭で、園児は日常的に体を動かして活動している。一人一人がゆとりをもって遊ぶことができる反面、人との距離の取り方や、狭い場所での身のこなし方などで危ない場面もあり、危機意識が少し低い傾向にある。また、感染症対策として家で過ごす機会が多かったことから、体を動かすことや姿勢の保持が持続できないといった体幹の弱さが感じられる。日々の遊びの中で友達と楽しく体を動かす機会を意図的につくり、様々な動きを通して体力や運動能力の基礎、安全への意識などが身に付くように働きかけていくことが課題である。
- 前年度、健康な生活についての保健指導や保護者啓発を継続したことで、家庭でも基本的な生活習慣を大切にしようとする姿勢が伺われた。しかし、食に対する興味が薄かったり、生活リズムが崩れがちであったりする様子もあるため、健康な生活を園児も保護者も意識できるような取組を工夫していくことが必要である。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- 令和 7 年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を 80%以上にする。
- 令和 7 年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を 80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を 70%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標 (全市共通目標を含む)

【安全・安心な教育の推進】**学校園の年度目標**

- 令和 5 年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】**学校園の年度目標**

- 令和 5 年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を 80%以上にする。
- 令和 5 年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を 80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】**学校園の年度目標**

- 令和 5 年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を 70%以上にする。

保護者アンケートの結果は、各項目とも目標以上に達成することができた。

保護者参加の行事や地域交流などコロナ禍以前の活動内容で再開するのではなく、現状にあった内容や交流のもち方を見直し考えて取り組んだことで、幼児の実態に合った内容となり保育充実を図ることができた。遊びの中での幼児の学びや育ちを保護者と共有する手段にホームページの投稿やドキュメンテーションの作成を行った。園内外に向けて教育内容の発信を細やかにすることで幼稚園の教育内容が十分に周知され、保護者アンケートすべての項目における高評価につながったと考える。保護者の反応や教育成果から、今年度の項目や重点の置き方が、園や幼児の実態に即し、適切であったと評価できる。引き続き園運営に対して教職員の共通理解を深め、一人一人の幼児がさらに充実した園生活を送ることができるよう、教育内容を工夫していきたい。

大阪市立桃園幼稚園 令和5年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】 学校の年度目標 ○令和5年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を80%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容① 【基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現】 安全に過ごそうとする気持ちを育てる。	A
指標 ・ 幼児と共に年3回安全に関する視覚物をつくったり、知らせる機会をもったりする。 ・ 学期に1回、安全に関する保護者啓発を行う。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
【年度目標】について ○3学期保護者アンケートにおける「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、肯定的な回答の割合は100%となった。 【取組内容】について 取組内容① ・ 5歳児は遊びの中で園庭を見回り、遊具の安全な使い方や園庭の危険な所などを確認する機会をもった。また、幼児が見えるところにスピードの標識を置き、廊下を歩くことを意識できるようにした。3学期には再度クラスで、「園庭の危険な所や安全な遊び方について」話し合い、安全マップをつくった。そして、話し合ったことを安全マップを使って4歳児に知らせたことで、園全体で安全に遊ぶことへの意識が高まった。 ・ 4歳児は避難訓練の前に、地震時の安全な場所を考え、天井に安全マークを貼ることで、避難時その表示を見ながら自分で安全な場所を見つけ、避難することができた。また、3学期には、来年度の新入園児のために、保育室以外の安全な場所を考えたり、安全マークを貼ったりする機会をもち、安全に対する意識が更に高まった。 ・ 運動遊びや水遊びなど様々な遊びの中で、クラスや園全体で遊具や用具の使い方、園庭や2階テラス、プールなどでの過ごし方について指導を行った。3学期は園庭でドッジボールや一輪車、スケーターなど様々な遊びを楽しむ姿があったので、機会を捉えて遊び方を知らせ、安全に遊ぶ意識づけをすることができた。 ・ 10月12日は南警察の警察官より街中で見かける信号や標識について安全指導していただいた。園外保育前は警察官から指導していただいたことを再確認したり、園外での過ごし方や電車の乗り降りの仕方などの指導も行ったりして、安全に園外保育に参加できるようにした。 ・ 2学期の終業式では、クイズ形式で交通安全に関する話をし、安全な冬休みの過ごし方について考える機会にした。3学期は小学校へ出かける機会を捉え、就学に向けて道路の歩き方、標識などについて話す機会をもった。

	幼児への安全指導の内容	回数	視覚物
1 学期	園内の安全見回り、遊具の安全な使い方、水遊びの約束	3 回	廊下の安全標識
2 学期	避難訓練での避難の仕方、運動遊びでの遊具や用具の使い方（竹馬、フープ、トランポリンなど）、安全指導（南警察）、園外保育について（園外での過ごし方、電車の乗り降りの仕方）、怪我の起こる場所について、交通安全指導	7 回	地震時の安全マーク、交通安全クイズ
3 学期	避難訓練での避難の仕方（地震について、二次避難、引取り訓練など）、安全マップについて（クラス、全体）、地震時の安全マークについて、交通安全指導	5 回	安全マップ 地震時の安全マーク

- ・安全指導した降園時に、指導した内容、幼児の姿などを保護者に話し、保護者啓発を行った。また、1 学期の終業式では、教師が防犯に関する劇をし、2 学期の終業式では交通安全に関する話をした。幼児が実際の場面をイメージしやすいような劇を見せたことや、指導の様子を保護者にも見てもらったことで、安全に対する意識が高まるようにした。3 学期は幼児がつくった安全マップをテラスに置き、保護者にも見てもらった。園庭開放時など、教師がいなくても安全な遊び方を意識する姿につながった。

	保護者啓発の内容	回数
1 学期	避難訓練での様子など（2 回）、遊具の使い方、プールの約束など、道路の歩き方、防犯指導	6 回
2 学期	避難訓練での様子など（1 回）、遊具の使い方、交通安全指導（2 回）、園外での約束など	5 回
3 学期	避難訓練での様子、引取り訓練（1 回）、安全マップの掲示、安全マークについて	4 回

次年度への改善点

- ・今年度つくった安全マップや安全マークを、次年度にも引継ぎ、幼児自身が安全意識をもって行動できるようにする。
- ・次年度も継続して降園時などの機会を捉えて、安全に関する話や幼児への指導の様子などを保護者へ話す機会をもつ。

大阪市立桃園幼稚園 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校の年度目標 ○令和5年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を80%以上にする。 ○令和5年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を80%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【基本的な方向5、健やかな体の育成】 幼児が興味や関心がもてるような運動遊びを取り入れ、体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにする。	A
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回以上、運動遊びを取り入れる。 ・年5回以上、全園児で体操やダンスに取り組む。 	
取組内容②【基本的な方向5、健やかな体の育成】 歯と口の健康に関心や大切にしようとする気持ちをもつ。	A
指標 <ul style="list-style-type: none"> ・歯と口の健康に関する指導の年間計画をたて、実施する。 ・年に2回以上、歯と口の健康に関する保護者啓発を行う。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
【年度目標】について ○3学期保護者アンケートにおける「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、肯定的な回答の割合は100%であった。 ○3学期保護者アンケートにおける「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、肯定的な回答の割合は100%であった。 【取組内容】について 取組内容① <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の興味や関心がもてるような遊びを取り入れてきた。律動では、体のコントロールが取れるようにリズムに合わせて体を動かし、ボールや風船遊びでは体と目の動きがつながる事を意識してきた。一輪車や一本歯下駄は5歳児が昨年度に引き続き取り組んでいて、バランスを取りながら挑戦を続けている。水遊びやプール遊びは、夏の時期ならではの遊びで、存分に水に親しんで遊べるように、2階のテラスにウォーターパークと称して水遊び場をつくり、プール遊びと交代で各学年が十分に遊べる場所と時間を確保した。縄遊びは、縄を地面に置いて、飛び越えて遊んだり、プロペラのように回して遊んだりなど、簡単な遊び方を取り入れると自ら挑戦して体を動かし楽しむ姿が見られた。 ・運動会では、今までの遊びと幼児のイメージを合わせ、4歳児は星の世界、5歳児は魔法の世界がつながるような遊び方をして取り組んだ。 ・3学期は今まで取り組んできた遊びや体操、ダンスなどを劇遊びに取り入れて表現することを楽しみ、4、5歳児がお互いに見合って刺激を受ける姿が見られた。 ・転がしドッジボールは4、5歳児が自然と関わって遊べる活動となった。

	運動遊びの内容
1 学期	律動、ボール投げ、風船遊び、サーキット、一輪車、水遊び、プール遊び 一本歯下駄
2 学期	フラフープ、パカポコ、縄、竹馬、バルーン、スケーター競争
3 学期	マラソンごっこ、平均台、転がしドッジボール、長縄跳び
・幼児が楽しめるよう、虫や動物、季節を感じる体操やダンスを取り入れた。また、幼児が好きな体操をつないで、『とうえんっこメドレー』を運動会のフィナーレとして披露した。	
	体操・ダンス
1 学期	テントウムシ、サクランボのマンボ、ちょっとだけ体操、ペンギンのプール体操、エビカニクス、
2 学期	ようこそ運動会、星空カーニバル、チャーリーと魔法の杖、冷凍みかん ドングリ体操、いちごサンタクロース
3 学期	筋肉もりもり体操、ねこときどきライオン、こすれこすれ、温泉体操
・誕生会で、誕生児の遊びとして体を使って遊ぶ遊びを取り入れた。誕生会で楽しんだことで、その後の幼児の遊びにも主体的に取り入れられた。	
月	誕生会での遊び
4・5 月	ボール遊び
6・7 月	風船遊び
8・9・10 月	縄遊び
11・12 月	サイコロを使って(ケンケン、ジャンプなど、みんなで考えた動き)
1・2 月	長縄を使って(劇遊びの遊びより)
・6 月に講師の方を招いて『つながり遊び』を行った。保護者にも参加し、心も体も動き、存分に楽しむ機会となった。	
取組内容②	
<ul style="list-style-type: none"> ・歯と口の健康に関する指導の年間計画を立て実施し、振り返りをした。(別紙参照) ・11 月の大阪市の生涯歯科保健事業の一環として実施した、歯科衛生士による園児向けの歯みがき講習会では、片頬をふくらませ、頬の内側は舌で押し、頬の外側からは指で押して、舌と指で相撲をしたり、舌の先で歯の上側を順番に触ったりする舌の体操を教えた。これらには、舌や口の筋肉が鍛えられ、唾液が多く出て、口呼吸を促進すると共に顎の発達にもよい効果がある。4 歳児では、昼食後の歯みがきの後にあいうべ体操と共に現在も継続している。 ・上記の歯みがき講習会での内容を保健日より保護者に知らせた。 ・1 学期の終業式に、歯みがきカレンダーと動画についての保護者啓発を行った。 ・2 学期の終業式に、あいうべ体操のカレンダーについて保護者啓発を行った。保護者にもその場であいうべ体操を行い、冬季休業中に家庭で取り組めるようにした。家族ぐるみで実践した家庭もあった。 ・3 学期、4 歳児においては、より主体的に歯みがきに取り組めるよう、園児が養護教諭の代わりとなり、顎模型を用いて歯みがきをしたところ、先生役に自ら挑戦する姿や正しい歯のみがき方を覚え、実践する姿が見られるようになった。また、2 月下旬より、週に 2 回、一人で歯みがきをする日を設けた。現在も、鏡を見ながら自ら歯みがきに取り組んでいる。 	
次年度への改善点	
<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、今年度楽しんだ遊びを継続したり、新たに幼児の興味や関心をもてるような遊びや体操、ダンスなどを取り入れたりし、幼児の実態にあった活動にしていく。 ・幼児の実態に合わせた昼食後の歯みがき指導を継続し、指導した内容を分かりやすく伝える工夫をする。 ・5 歳児の歯みがき指導や舌や口の体操の在り方を研究していく。 ・園での取り組みを保護者に伝え、家庭と連携していく。 	

大阪市立桃園幼稚園 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】 学校の年度目標 ○令和5年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を70%以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
取組内容①【基本的な方向9、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 幼児の活動や育ちを知らせ、家庭や地域との連携を図りながら子どもを見守る。 <hr/> 指標 ・子どもの様子を、月に1回写真やホームページを通じて発信する。 ・地域・近隣小学校・諸団体と連携し学期に1回以上交流や情報交換を行う。	A

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

【年度目標】について

○3学期保護者アンケートにおける「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、肯定的な回答の割合は100%であった。

【取組内容】について**取組内容①**

- ・遊びや行事について「幼稚園日記」のホームページを更新し、活動内容を伝えた。
- ・各行事のアンケートでも、保護者から閲覧したとの意見も多く、保育内容の発信に役立っている。アクセス回数も増加し、入園希望者や未就園児活動参加の問い合わせも増え、幼稚園に寄せる教育的関心も高くなってきていると感じる。

【ホームページ更新内容】

令和6年2月27日現在

月	更新回数	内 容	アクセス数
4月	34回	入園式、4月の遊び、収穫、昼食の様子 他	968回
5月	39回	収穫、子どもの日の集い、未就園児活動他	1026回
6月	32回	ウォーターパーク、絵の具遊び 他	1285回
7月	24回	プール遊び、七夕の集い、保育参加 他	815回
8・9月	31回	終業式、始業式、夏の遊び、書道の日 他	1511回
10月	26回	運動会、種花事業、他園との交流 他	1112回
11月	30回	園外保育、手洗い講習会、人形劇 他	813回
12月	20回	作品展、マリンバコンサート、大掃除、お楽しみ会、終業式 他	567回
1月	14回	始業式、アフリカのリズムで遊ぼう 他	629回
2月	19回	豆まき、生活発表会、季節の遊び 地域との交流 他	731回

- ・2か月毎に、各クラスの担任から、「幼児の姿」「幼児のつぶやき」「教師の教育的意図をもった働きかけ」を記載したフォトフォリオを作成し、保護者へ保育内容を発信した。

【フォトフォリオ内容】

年 長		年 中	
4・5月	異年齢のかかわり	4・5月	はじめての幼稚園
6・7月	水遊び	6・7月	水遊び
8・9月	運動会にむけて	8・9月	体を動かす遊びについて
10・11月	作品展むけて	10・11月	つくって遊ぼう
12・1月	生活発表会にむけて	12・1月	劇ごっこの取り組み

- ・地域小学校や諸団体と連携を行い、交流や情報交換を行い保育へ役立てている。
- 1学期…中央小学校1年生の授業参観・1年生担任との懇談会、地域への収穫物の持参、南大江小学校への参観、特別支援諸団体へ参観・情報交流会への参加 等
- 2学期…種花事業、4歳児訪問事業、中央小学校「わいわいまつり」への参加、桃園会館「たにまちっこ」とのコラボ、銅座幼稚園との交流 等
- 3学期…中央小学校1年生授業参観、中央小学校1年生との交流、桃園会館ふれあい喫茶訪問、桃園会館太鼓の会見学及び体験、たにまちっことのコラボ、商店街への地域散歩、中央小学校との就学前情報交換やコーディネーターの見学 等
- ・アフターコロナとなり、現状に合わせた連携や交流を行ったことで、人とのつながりを感じる活動となり、保育へと役立てることができている。

次年度への改善点

- ・今後も継続して幼稚園教育の発信を行う。
- ・次年度も地域、小学校との交流や連携を継続する。

令和5年度 学校関係者評価報告書

大阪市立桃園幼稚園 学校協議会

1 総括についての評価

自己評価は、妥当である。

- ・今の実情に合わせながら、教職員が一丸となり、小・中学校、地域とも連携をしながら教育活動を十分に展開していることが感じられる。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標

- 令和5年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を80%以上にする。

自己評価は、妥当である。

- ・幼児自ら気付けるような安全教育に力を入れていると感じる。大きな怪我もなく一年を終えることができて保護者としても安心している。

年度目標

- 令和5年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を80%以上にする。
- 令和5年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を80%以上にする。

自己評価は、妥当である。

- ・幼児教育の大切さを再確認している。体を動かす遊びをはじめ「知・徳・体」がバランスよく育まれ、活動のねらいも明確にし、伸び伸びといろいろなことを楽しめる幼児が育っている。
- ・歯みがきでは、幼稚園で教えてもらったことがしっかり身に付いていると感じる。幼児自らが自分の健康について気付けるように指導されていると感じ、幼児が学んだことを保護者も子どもを通して学んでいる。

年度目標

- 令和5年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を70%以上にする。

自己評価は、妥当である。

- ・地域や近隣小学校との交流では、フットワークの軽さを生かしいろいろな行事や交流を実状に合わせて実施し多くの関わりがもてた。今後もできることを考えながら実施していきたい。
- ・ホームページでは幼稚園での様子が分かり、保護者のニーズも大きく幼稚園教育の理解につながっている。ホームページの更新数アクセス数も多く、未就園児の保護者が見て園児が増えることは大きな効果となっている。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・これまでの良いところは継続しながら、新しいことも取り入れていると感じる。教職員の努力を感じる。
- ・少人数であることも強みにとらえながら、今後も質の高い保育を継続してほしい。